



け や き

学校教育目標

未来を拓き、心豊かにたくましく生きる力を育む

令和6年6月3日

児童数 333名

北っ子魂 輝かせ！

校長 佐藤 健

「赤組勝つぞ！赤組勝つぞ！」「白組勝つぞ！白組勝つぞ！」本校にも運動会が戻ってきました。今年は、運動会として開催するのが3年ぶりです。また、本校の校庭が利用できず、大宮東小学校の校庭をお借りして実施するという異例づくめの運動会でした。特に練習場所に苦勞し、練習はほぼ体育館のみで行い、本番の会場を利用した練習は、全学年が集合しての練習1回と、ブロック学年での練習1回という状況でした。また、当日は、暑さ対策として桜木小学校と大宮東小学校からお借りしたテントを、本校PTAとグランドクラブの方々の力をお借りして、短時間で設営し準備しました。本校職員も、会場校での練習、運動会の準備と自校開催とは異なる段取りを組んで本番に臨みました。

そういった、様々な人々の苦勞の下に、更には保護者、地域の皆様のご協力をいただき、運動会を開催することができました。運動会スローガン「みんな優勝 北っ子魂 輝かせ！」にあるように、子どもたちが笑顔が輝かせ、目当てをもって努力し、力を発揮できた運動会になったことが、何よりうれしいことです。保護者の皆様の温かい声援にも感謝申し上げます。そして、ご協力いただいたたくさんの方、本当にありがとうございました。

6月に入りました。6月はさいたま市が「いじめ撲滅強化月間」に指定しております。特にこの期間に、いじめ問題を考え、いじめが起きない集団や学校をつくらうとする意識を高めることがねらいの一つです。

子どもたちには、常日頃から「みんなちがって みんないい」と言っております。この言葉は、ご存じの方が多いかと思いますが、大正時代に活躍した童謡詩人金子みすゞの言葉です。子どもたちには、お互いを認め尊重し、大切にできるようになって欲しいです。では、そのようになるためにはどうしたらよいか問題となります。私は、子ども自身が「自分はいい」と思えることが解決の糸口になるのではと考えます。つまり、自分のよさに気づき自分に自信をもつ、そのようになれば、他者と比べることなく他者を受け入れられるようになるのではないのでしょうか。自分のよさに気づくためには自己理解が必要です。ただ、子どもが自分自身を理解することは難しいです。そこで、ご家庭でお子さんについてお子さんと話し合ってみてください。例えば、普段からがんばっていることやよい所について語り合うのです。そのことにより、子どもは自分のよさを自覚します。勿論、子どもですから課題もあります。ただ、課題をダメな点として伝えるのではなく、どのようなようになって欲しいか、どのようにして親子一緒に克服していくか目標をもたせてください。それらのことが、子どもが自分を深く理解し、自分という存在に自信をもつことにつながります。

自分を深く知り、自分に自信をもち、自分が輝けるようになる。そして、自分を、自分の周囲にいる人を尊重する優しい心をもつ。そのような子どもを育てていきたいです。本校の子ども一人ひとりが「北っ子魂」を輝かせられるよう家庭、地域、学校が三位一体となって取り組んでいきましょう。